



【第471回】

株式会社ニューパートナーズ ホールディングス

TDB企業コード：894025156

法人番号：6120001215125

所在地：大阪市北区梅田2-4-13 阪神産経桜橋ビル5階

TEL：06-6448-1234

設立：2018年8月

代表：山中 慎一氏 従業員：100名（グループ総従業員180名）

事業内容：住宅型有料老人ホームおよびサ高住の運営

HP URL：https://newpartners-holdings.co.jp

看護介護一体で“医療難民”を受け入れる

2018年に山中慎一代表が創業した（株）ニューパートナーズホールディングスは、「スイートガーデン」の施設名でサブリースによる住宅型有料老人ホーム5施設、サービス付き高齢者向け住宅1施設を運営している。「すべてはご入居者様ファーストで」をモットーとし、同業他社を凌駕する質の高いサービスと安価な入居費用で利用者らの満足度は高く、口コミや紹介によって新規開設後3カ月以内には約8割の居室が埋まるという。

当施設が積極的に受け入れているのが、医療機関で長期的な医療サポートが受けられない要介護度の高い利用者。日本では診療報酬の関係から一般的に看護・介護を必要とする重篤な状態でも長期間入院することができず、中には受け入れ可能施設の空き待ちで病院を転々とする“医療難民”と言える人々が存在する。そんな社会問題に目を向け、重度な介護者に対応できるよう正看護師が24時間常駐する体制を整備。医療行為を伴う看護や訪問看護は関係会社の（株）ニューパートナーズで行い、グループ全体で看護と介護一体となったサービスを手がけている。

代表の山中氏は現場約20年、施設立ち上げ20棟以上の経験を持ち、さらに経営を担う役員全員が介護資格および現場経験を持っている。だからこそプロフェッショナルとして長期的な市場ニーズの分析が可能で、働き方改革の実施やお客様目線に立った施設開発など、人材・設備投資を行える体制を整えている。

IT化や週休選択制など人を大切に 介護人材の働き方イノベーション

「この仕事の根源は人と人との関わりです。運営体制と質の高いサービスに加え、優秀な人材が必要です」と話す山中代表。離職率が高い業界で、働き方改革に奔走している。他施設ではいまだアナログが主流である介護対応の記録・確認に対し、自社で独自に「介護ITるーてれシステム」を開発。介護職員の手間が3分の1に低減され、離職率の低下につながっているという。

さらに選択的週休3日制を導入するほか副業の許可、従業員の独立支援を行うなど時代に合わせ



絶大なリーダーシップで介護業界を変革する山中代表

た労働環境の整備を進める。入居者や若者向けのタレントを活用した内覧会イベントを企画するといった介護事業のイメージ払拭にも余念はなく、将来を見据えた広告・新卒採用に力を入れる。また、山中代表が「利用者様と従業員の双方の満足度向上を図るため、各現場の“不満”を直接くみ取り、それを具体的に改善する仕組みを設置しています」と話すように、透明性・公平性を保って多様な意見が出る組織運営を行っている。

介護需要から地域に求められる拠点へ

医療機関や薬局からの信頼も厚く、近時は各施設と連携し三者が一体となった複合型施設の開発に注力する。正看護師の24時間常駐を筆頭とする高品質なサービスと、地域医療機関及びドクターとの連携により「より安心して社会に貢献する施設」として地域住民・利用者はもちろん、ホルダー企業、そして運営する当社“三方よし”の事業展開を目指す。

今年8月には「スイートガーデン枚方津田」の開業を予定する当社。利用者や従業員の満足度を高めて地域、利用者、ホルダー企業そして従業員から求められる“社会資源”としてさらに介護業界を牽引する。

（取材・文／営業部 池田和彦・肥田和明）